

上西先生が教える絵画教室
塗り絵からスタートすれば絵心ゼロでもすぐ上達！

プロ直伝！ いきなり上手に描ける 水彩画講座 レッスン1

色塗り
編

色塗り編

- ◆チューリップ
- ◆田舎の風景
- ◆海辺の風景
- ◆イヌ

Sample



上西先生が教える絵画教室

「プロ直伝！いきなり上手に描ける水彩画講座」レッスン1

～ 色塗り編（チューリップ・風景・イヌ）～



監修：上西竜二

制作：株式会社 Good Appeal

はじめに

はじめまして。画家の上西竜二です。
この度は私の絵画教室 DVD&テキストを
お手に取ってくださりありがとうございます。



「もっと絵を上手に描けたらいいな・・・。」
「あんな絵をさらっと描いてみたい・・・。」
「ずっと憧れだったんだよね・・・。」
「旅行先の風景を絵に描いて残せたら・・・。」

さまざまな思いから、あなたもこのテキストを手にとられたことでしょう。

水彩画というと、学校の授業でも学ぶため、
ほとんどの方はやってみたことがあると思います。

ですが、自分なりに頑張ってみても納得のいくものが描けないな
と思われるかもしれません。

私も絵画教室を担当していますので、そうした水彩画に関するお悩みもよく耳にします。

誰も「上手に描きたい」という気持ちはあるのに、何だか上手く描けない。

これはセンスが無いとか、絵心がないというわけではないのです。
単純に、「描き方を知らない」というだけです。

ですから、この講座では水彩画を通じて、上手に絵を描くポイントをご紹介します。
これさえ知れば、きっとあなたも今よりずっと上手に思ったように、
絵を描くことができるようになると思います。

この「見てすぐ描ける水彩画講座」は、ご自分のペースで学んで頂けるよう、
特にペース配分というものは設けていません。

あなたの好きなペースで、サクサク進むもよし、ゆっくり進むもよし、
ご自由に学んで頂ければと思います。
なるべくゆっくりと解説していますので、これまで絵が苦手だったという方も、
きっと楽しく学べるでしょう。

また、DVD では実際に描いている様子を見られますので、絵の具の色の作り方や、筆の運び方など、かつて無い細かい部分まで作りこんで解説をしています。

さらに、DVD という性質上、何度でも繰り返しご覧頂けます。

よく分からないなと思えば、すぐリピートできますので、聴き逃しありません。

今回あなたと一緒に学んでいく絵は、日常生活でササッと描けるとかっこいいなと思った題材を選んでいきます。

きっと、これからのあなたの趣味の一環として、とても役立つ内容になっていると思います。

絵は一生楽しめる趣味になります。

「絵を鑑賞する楽しみ」から「絵を描く楽しみ」へ。

新しい楽しみが増えるその第一歩として、このテキスト&DVD がお役に立てば、幸いです。

それでは水彩画について楽しく学んで行きましょう！

2013年8月 上西 竜二

Sample



目次

はじめに	1
目次	3
第1章	
水彩画の道具について	4
第2章	
チューリップの色塗り	19
第3章	
田舎の風景の色塗り	23
第4章	
海辺の風景の色塗り	30
第5章	
イヌの色塗り	35
最後にあなたへのメッセージ	38
プロフィール	41
本書について	42
※ちょっと小話※	
・透明水彩と不透明水彩って何が違うの？	11
・水彩紙の中の有名選手とは？	14
・なぜ、りんごを描くの？	22
・見本写真の大きさについて	29
・写真はなぜ実際の風景と違うのか？	34
・うまく白い部分を塗り残せないときは？	37

Sample



第1章 水彩画の道具について

Sample

まず、水彩画を描くために必要な
道具を準備しましょう！



水彩画に必要な道具を準備する

では、いよいよ水彩画を描く準備に入ります。
最初は道具から見ていきましょう。

■筆

今回使ったものは、日本画用に売られている筆です。
私は普段、水彩画を描く折にこの種類の筆を使っています。

イタチかコリンスキーなど動物の毛を使った少し高価なモノです。
実際自分が使ってみて描きやすいものが一番ですので、
メーカーは、どこでも構いません。

基準となるのは、「水の含みがよく」「毛先が揃う」という事です。
水彩画用の筆として、丸筆や平筆などありますが形状はどんなものでも構いません。
用途によって必要な筆を揃えて下さい。

例えば、今回は比較的細かい所を塗る作業が多かったため
面相筆のような先の細いものを使用しました。
ですが、大きな広い面積を塗る場合には、平筆やハケがあると描きやすいでしょう。

動物の毛に対してナイロン製の筆もあります。柔らかく毛にムラがないのと、
毛が抜ける事はありません。何より値段が安い事も大きな魅力です。

ところが、動物の毛のモノより水の含みが悪く、摩耗による劣化が早いという
難点があります。
また、毛が抜けたり削れたりしない代わりに、外側に反り返って元に戻らなくなります。
(右下写真のような状態)
これに対して、動物の毛のモノは高価ですが、寿命が長く反り返ることもありません。
ただし、質の悪いものに当たると、穂先が割れたり、揃わないことがあります。
ですから質の良い動物の毛の筆を選んでいただくことをおすすめします。

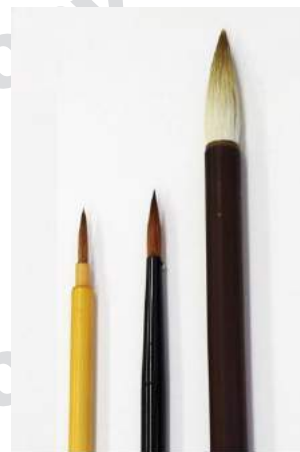
初心者で「うまく塗れない」という方はこの筆選びから
失敗している場合も少なくありません。
ここはぜひ、楽しく素晴らしい絵を描くためにも、
こだわって筆を選んでみましょう。



今回使用している筆：

大：右 / ARTETJE 紫紅 / 長流 中
中：中央 / 熊野筆 super kolinsky / 面相筆
小：左 / 熊野筆 HOKUSAI series888 / 面相筆 小

※「ARTETJE 紫紅」は現在メーカーがなくなってしまったため、
手に入れるのは困難です。
そこで、下記の値段も筆を選ぶ際の参考にして下さい。



参考価格 / 大・・・およそ 3,000 円
中・・・およそ 2,000 円
小・・・およそ 1,500 円



【お手入れと保存方法】

制作中に筆を水入れにいれたままにしておくと、筆が痛む原因になります。
使わないときは水気をタオルで拭いて置いておきましょう。

使用後の筆はきれいな水が入った水入れでよく水洗いし、水気をタオルで拭きます。
そして**筆巻き**と言われる“すまき”に入れて、自然乾燥させてください。

市販の筆入れにプラスチック製でふた付のものもありますが、
筆入れの中で筆が傾いたりして筆先が中で潰れてしまうことがあると、
筆先を痛めてしまいます、

そうならないために、保管には筆先が中で潰れる心配のない
筆巻きがおすすめです。



■絵の具

透明水彩の絵の具を用意しましょう。

今回は「ホルベイン アーティストウォーターカラー」を使用しました。

解説もこの絵の具の名前で解説しています。

初めは「30色セット」がおすすめです。

まず12色や24色セットから初めて、後から足りない色を買い足す、
ということを進めている入門書もあります。

しかし、色の種類が限定されるので、モチーフに近い色を出すのが難しいかもしれません。
限られた色で、作りたい色を作ることも意外と難しいものです。

ですから、色作りが苦手という方は特に、初めはたくさんの種類が入っているもの
を選ばれると良いと思います。

参考例／	30色	・・・	およそ5,000円
	24色	・・・	およそ4,000円
	12色	・・・	およそ2,000円

有名なメーカーの絵の具なので、画材屋さんに行けば、手に入れます。

ただし、30色セットを常備されていないお店もあります。

その場合は取り寄せができるか、聞かれてみて下さい。

今回使用しているもの：

ホルベイン アーティストウォーターカラー(HOLBEIN ARTISTS' WATER COLORS)

※今回描くのに必要な絵の具はP.10で詳しくお伝えしています。



■パレット

プラスチック製、陶器製、金属製などいろいろとありますが、私のおすすめは軽くて、手入れがカンタンな金属製(アルミ製)です。こちらメーカーは問いません。必要な色を常に出しておけるので、26色並べられるくらいのものがいいでしょう。

パレットの種類も様々で、少ないと13色~多くて35色くらい並べられるものもあります。

仕切りが少ないと、サイズも小さめで持ち運びに便利ですが、モチーフが変わると出している絵の具の系統を変える必要もあります。その都度洗って、絵の具を差し替えるのはけっこう不便です。

透明水彩はパレットにずっと出しておいて、何年も使えることがメリットなので、なるべく、絵の具を出しておけるもののがいいでしょう。

ただし、たくさんの仕切りがあれば、サイズ感が大きくなったり、絵の具を混ぜる場所が狭くなったりすることがあります。

なので、26色くらいが使いやすいと思います。

素材は、プラスチック製でも問題ありませんが、プラスチック製の場合使用を続けていると、パレットに絵の具の色が染みついてしまい、落ちないことがよくあります。

金属製の場合、そういった色残りが少ないところが良い点です。汚れた部分に水を加えて、タオルやティッシュで拭くとカンタンにきれいになります。



【お手入れと保存方法】



絵の具は出したままで数年持ちます。きれいに洗い流す必要はありません。タオルやティッシュなどで水気を拭いたら、そのまましまっておいて大丈夫です。パレットに出した絵の具を再び使う際は、水を足して溶かすと使えます。

■パレットでの絵の具の並べ方

★絵の具のカラー名とDVD中の絵の具の並べ方

同じ系統の色が横に並ぶように、並べます。

左に同系色の鮮やかな色、右に行くと暗い色の絵の具を並べておきます。

色を作っている時に、もう少し濃い方が良いな、薄い方が良いな、

と感じた場合、加える色がわかりやすくなります。



—DVD 内で使用したパレットの絵の具 カラー名対応表—

1	W133	バートアンバー	14	W098	インジゴ★
2	W139	バンダイキブラウン★	15	W093	ウルトラマリンライト★
3	W112	ミネラルバイオレット	16	W091	コバルトブルーヒュー
4	W010	クリムソンレーキ	17	W092	セルリアンブルー
5	W012	ローズマダー	18	W134	バートシェンナ
6	W015	カドミウムレッドディープ★	19	W132	ローシェンナ★
7	W021	パーマネントレッド★※	20	W002	チャイニーズホワイト
8	W013	オペラ	21	W138	アイボリーブラック
9	W016	カドミウムレッドオレンジ★	22	W074	オリーブグリーン
10	W044	カドミウムイエローオレンジ★	23	W075	サップグリーン
11	W037	パーマネントイエローディープ	24	W077	リーフグリーン★
12	W036	パーマネントイエローライト★	25	W066	パーマネントグリーンNo. 1
13	W033	レモンイエロー	26	W069	カドミウムグリーンパール★

※カラー名はホルベインアーティストウォーターカラーに基づきます。

※★がついた絵の具は「30色セット」に含まれていない色です。絵の具はバラ売りでも手に入られます。

※「パーマネントレッド」は現在廃番の色となっています。代替色として「W007 ピロールレッド」が同じように使えます。

※おすすめの絵の具の並べ方

(色の系統が近い色の順番に並べた、わかりやすい並べ方)

1	W133	バートアンバー	ブラウン系	14	W138	アイボリーブラック	黒
2	W139	バンダイキブラウン★	ブラウン系	15	W098	インジゴ★	ブルー系
3	W134	バートシェンナ		16	W093	ウルトラマリンライト★	
4	—	—	レッド系	17	W091	コバルトブルーヒュー	白
5	W010	クリムソンレーキ		18	W092	セルリアンブルー	
6	W012	ローズマダー		19	—	—	
7	W015	カドミウムレッドディープ★	イエロー系	20	W002	チャイニーズホワイト	グリーン系
8	W013	オペラ		21	—	—	
9	W016	カドミウムレッドオレンジ★	イエロー系	22	W074	オリーブグリーン	グリーン系
10	W044	カドミウムイエローオレンジ★		23	W075	サップグリーン	
11	W037	パーマネントイエローディープ		24	W065	テールベルト	
12	W036	パーマネントイエローライト★		25	W069	カドミウムグリーンパール★	
13	W033	レモンイエロー		26	W077	リーフグリーン★	

※メーカーによって色名は異なります。

※「—」の箇所は何も入れない部分（あえて空けます。好みの色や、モチーフによって必要な色がある場合に使用して下さい）

※絵の具についている数字が近いものは同系色です。目安として、数字が小さいものほど明るく、大きいほど暗くなります。

迷ったときは数字の順に並べてみてみましょう。

Sample

サンプルのため、この間の
ページは表示できません。

実践編

Sample

色を塗るための下絵は私が描いて用意しました。
モチーフ写真と共に別紙にてセットになっています。

あなたもDVDを参考に、モチーフ写真を見ながら、
下絵を塗っていきましょう。



第2章 チューリップの色塗り

では、いよいよ実際に色を塗ってみましょう。あなたもDVDを参考に、教材についている下絵を塗ってみてください。

テキストでは手順とポイントを簡単にまとめておきます。

■チューリップの色塗りの手順とポイント

1、全体と茎を塗る



◆ポイント1

明るい部分から、できるだけ薄く溶いた絵の具で塗っていきます。

モチーフで明るく白っぽく見える部分は白く残して塗ると、上手く明るさの表現ができます。

さらにそうすることで、花の鮮やかさも表現できてきます。

ここで大事なポイントは、水の溜まった箇所は暗い部分へ持って行っておくことです。

2、暗い部分と茎、葉を塗る



◆ポイント2

暗い部分を塗り重ねていきますが、いきなり濃い色で塗らずに、

同じ色味を重ねて塗っていきます。

同じ色味でも重ねて塗ると、濃くなっていきます。

茎や葉の暗い部分は、暗いグリーンなどを混ぜて塗り分けましょう。

Sample

サンプルのため、この間の
ページは表示できません。

第5章 イヌの色塗り

■イヌの色塗りの手順とポイント

1、全体の明るい部分を塗る



◆ポイント1

白い毛の部分は、白色を使うのではなく、周りの毛の色に似た色を薄く溶いて塗るのがポイントです。色がつくか、つかないかくらいの色味で十分立体感が出せます。また、動物は目の表現が重要になってきます。目に光が入っている、白い箇所を塗りつぶさないように注意しながら、瞳の中の黒い部分を塗って下さい。

2、全体の暗い部分を塗る



◆ポイント2

解説のDVDでは初めに大きい筆を使用していますが、顔の部分の塗るのは細かい作業になるので、難しい様であれば、中の筆を使用してもかまいません。はみ出ない様に注意して、そっと塗っていきましょう。毛並の質感は下絵ですでに描かれているので、塗りの段階では気にせず、下絵を利用することと、絵の具のにじみなどを利用して、質感を表現してみましょう。

3. 細かい部分を塗る



◆ポイント3

毛並みに気を取られがちになりますが、動物らしさが表現できる体のピンクの部分もしっかり塗っておきましょう。

写真をよく見ると、意外とピンク色の部分があります。

ここは思い切って、ハッキリした色をつけても大丈夫です。

■イヌの色塗りのポイント

イキイキとした表情を描けるようになると、一気に絵のレベルが上がります。

そこで、あなたの絵の力をアップするために、1つだけ、注意しておいて頂きたいことがあります。

それは、イヌに限らず、動物や人など生き物を描くとき、目の表現が大きなポイントになります。

細心の注意を払って、光の当たっている白い部分を塗り残すようにしてみてください。

そして、目の中の黒い部分は周りよりも少し暗くする。といったコントラストをはっきり分けると、生き生きとした表情を表現できるようになります。

また、はみ出さないように、特に慎重に周りに色を塗るようにしてみてください。



Sample

サンプルのため、この間の
ページは表示できません。

上西竜二(うえにし りゅうじ) プロフィール

1976年岡山県井原市生まれ

広島市立大学大学院絵画専攻(油絵)修了。

精力的に作品制作と発表を続けるかたわら、絵画教室の講師もつとめている。




個展

- 2000～ 初個展 以来、毎年個展開催 (岡山・笠岡・福山・東京など)
- 2007 銀座・秀友画像・東京都千代田区
福山天満屋/広島県福山市
- 2010 公文庫カフェ/岡山県岡山市
- 2011 奈義町現代美術館/岡山県勝田郡
しぶや美術館/広島県福山市
カフェZ/岡山市
- 2012 ピアットノノ/勝央町
倉庫 IN SEED/岡山県井原市

グループ展

- 2001 「修了制作展」ブリ・ラ・ジュネス賞受賞 広島県立美術館/広島市
- 2001 「ルビコン展」銀座東邦アート/東京都中央区 (.02)
- 2004 「新内外洋画展」天満屋中国地方巡回
- 2005 「備陽美術協会」所属 (以降、同展、チャリティー作品展) に毎回参加
笠岡グランドホテル内ワコーミュージアム/岡山県笠岡市
- 2009 「岡山県若手支援事業第2回 I氏賞」奨励賞受賞
岡山県天神山文化プラザ/岡山県岡山市
「生人形 堀佳子(里歩)の世界～永遠～」コラボレーション出品
奈義町現代美術館/岡山県勝田郡
「備陽美術協会ワコー文化賞記念展」出品
笠岡グランドホテル内ワコーミュージアム/岡山県笠岡市
「倉式 111匹の龍の末裔」岡山県民文化祭倉式ジャム
アイビースクエア内アイビー学館/岡山県倉敷市
- 2011 「CREATORS LOUNGE」倉敷阿智神社 齋館/倉敷市
「I氏賞展」岡山県立美術館/岡山市
- 2012 ～美術講座～井原市 “華鶴大塚美術館”

上西竜二ホームページ <http://www.uenishi.info>



本書について

著作権について

本書は著作権法で保護されている著作物にあたります。
本書の取り扱いについては下記の点にご注意下さい。

本書の著作権は、販売元である株式会社グッドアピール（以下著作者）にあります。
著作者の許可無く、本書の一部または全部を、印刷物、電子ファイル、ビデオ、テープ、ホームページ等のあらゆる手段により、複製、流用、転載、転記、翻訳、転売等を行うことを一切禁止いたします。

使用許諾契約

本契約は、本書を購入した個人（以下クライアント）と、著作者との間で合意した契約です。
本書をクライアントが受け取った段階で、この契約は有効となります。

【第一条】 契約の目的

著作者が著作権を有する本書に含まれる情報を、本契約に基づきクライアントが非独占的に使用する権利を認めるものです。

【第二条】 禁止事項

本書に含まれる情報は、著作権によって保護されています。
クライアントは本誌から得られた情報を、著作者の事前の許可無く、出版、講演活動及び電子メディアによる配信等により、一般公開することを禁じます。
特に本書を第三者に渡すことと固く禁止いたします。
クライアントは自らが行う場合においてのみ、本書の情報を使用できるものとします。

【第三条】 契約の解除

クライアントが本契約に違反したと、著作者が判断した場合、著作者は事前通告無く、使用許諾を解除できるものとします。

【第四条】 損害賠償

クライアントが本契約の第二条に違反した場合、本契約の解除に関らずクライアントは著作者に対し、その違約金として法律に基づく著作者の要求する金額を支払うものとします。
また、インターネットで公開した場合も、法律に基づく著作者の要求する金額の損害賠償を支払うものといたします。

【第五条】 責任の範囲

本書情報の使用責任は、クライアントにあり、この情報を使って損害が生じたとしても、著作者は一切の責任を負いません。

以上の規約は、お客様により良い商品をご提供するための最低限のお願いです。
ほとんどのお客様は、きちんと遵守いただいているので問題は無いのですが、
これだけ情報が流出している世の中です。



私共の商品は開発、製作段階においても膨大な時間をかけて作られており、貴重な情報と認識しております。情報の管理はお客様も気をつけて頂けるようお願い申し上げます。

また、もし他サイトや掲示板、オークション等で、当商品の公表、転売目的といった行為が見られるようでしたら、ぜひご一報下さい。(info@kaigakoza.com)

お知らせ頂いた方の個人を特定できる情報が外部に漏れる等は一切ありませんので、見つけ次第ご報告頂けると幸いです。

お客様が代金をお支払いになり、当社が情報を提供する、という構造自体を無視したやり取りを私共は断固許しません。そのような不公平等はあるてはならないことだと思っています。せっかくご購入頂いたお客様の好意を無駄にしないためにも、転売や公表などは絶対に見逃さないで、ご協力をお願い致します。

本書へのお問い合わせは、下記までお願い致します。

【連絡先】

株式会社グッドアピール
上西竜二の初心者向け水彩画講座&DVD 窓口

お問い合わせフォーム URL : <http://www.kaigakoza.com/contact.html>

メールアドレス : info@kaigakoza.com

お電話でのお問い合わせ : 084-944-5101

(ご対応可能時間：平日10時～19時 但し長期休暇除く)

所在地：広島県福山市西町三丁目25-2第一ビル2階